

# 令和7年度学生献血推進協議会事業報告 及び令和8年度献血推進事業計画

愛媛県 松山大学 学生献血推進協議会 唐木 萌百

# 目次

- ・ **3～4** 愛媛県学生献血推進協議会について
- ・ **5～12** 令和7年度学生献血推進協議会事業報告
  - 5** 令和7年度 学生献血推進協議会事業
  - 6～10** 献血推進に関する展示会 報告
  - 11～12** 若年層向け 配布チラシ 報告
- ・ **13～15** 令和8年度学生献血推進協議会事業計画
- ・ **16** 挨拶

# 愛媛県学生推進協議会について

## ◇活動目的◇

毎月行われる定例会や献血ルーム前での呼びかけ、大学内で行われる献血の準備や呼びかけ、学生の献血周知に向けた活動を通じ、愛媛県の献血者の増加を目指して活動しています。

## ◇参加団体◇

○参加大学：松山大学、聖カタリナ大学・愛媛県立医療技術大学

## ◇活動内容◇

- ・ 定例会の開催
- ・ 献血会場（献血ルーム、大学）での呼び込み
- ・ 学内献血の準備及び学生への周知
- ・ 全国の献血推進を行う学生団体との交流

# 愛媛県学生献血推進協議会の現状と課題

## 前年度より、改善されたこと

- ・ **部員数の上昇** → 松山大学 活動人数 令和6年度 4人 → 令和7年度 10人
- ・ **人材育成の強化** → 例：松山大学 リーダーシップ研修後の学びを通じた、企画作成の実施
- ・ **イベント時のボランティア要請の強化** → 事前告知・分担制の強化を図り、短時間でも参加できる人を増員。多くのボランティア参加者を募ることに成功
- ・ **イベント時の体調管理の徹底** → サマキャン等では熱中症が課題ではあったが、1時間おきの部員の体調の把握・強制とした休憩の導入・冷感装備の徹底により、熱中症の症状とみられる事態が0

## 改善するべき点

- ・ 各大学との連携の強化
- ・ 個人の負担を削減するため、人数の増員と、活動内容をグループ化

# 令和7年度 学生献血推進協議会事業

8月	愛顔の高校生献血会議 サマーキャンペーン
9月	松山北高等学校講演会
10月	献血に関する展示会
11月～12月	若年層向けチラシの制作
12月	クリスマスキャンペーン

# 令和7年度 報告 (献血推進に関する展示会)

- **準備期間** 4か月      **実施日** 10月5日(くすりと薬草展)
- **実施場所** 松山大学 薬学部
- **対象** 子供(小学生)世代～献血対象世代
- **協力・協賛** 愛媛県薬務衛生課 様  
愛媛県赤十字血液センター 様  
松山大学 薬学部 様
- **ボランティア参加人数** 10人 (松山大学)

# 反省点及び改善 令和8年度の計画

## 前年度の反省から改善した点

- ・ 子供が実施することで楽しめる企画の実施 → クイズの実施
- ・ 展示物が倒れないようにするための安全面の強化
- ・ SNSでの告知の実施

## 反省点・及び改善点

- ・ 大学との連携不足により、松山大学内での制作となった。 → 各大学に役割を分けての協力要請の強化  
準備期間を長めに設定

## 令和8年度計画(予定)

- ・ 資料 → 新しく制作を予定
- ・ 制作・準備期間 → 開催日程決まり次第 資料制作から準に取り掛かる
- ・ 各大学との連携を強化
- ・ 体験型の企画を計画 → 子供が体験して学びながら楽しめる展示と体験の融合

# 当日、来場された方へのアンケート

- 献血を経験したことはあるか 49人中 (30代~40代)  
ある51% ない49%
- 献血にご協力いただいた回数 24人  
1回 20% 2回~10回 68% 10回~20回 12%
- ご協力いただく頻度 24人  
1回のみ 24% 数年に1度 60% 1年に1回以上 16%

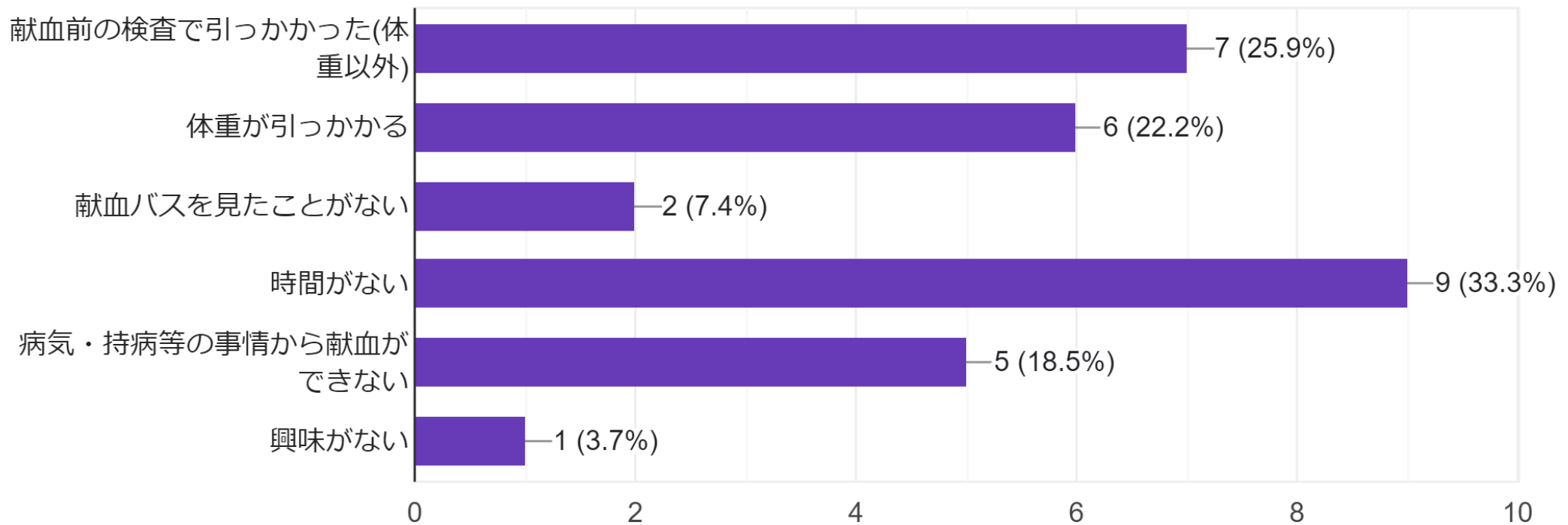


家族連れでのご来場

親世代が献血を知ることによって子供にも、献血を覚えてもらい、次世代への献血者上昇へとつなげる **20代後半~30代への献血周知も課題**

# 当日、来場された方へのアンケート

## ・献血を経験したことがないと答えた方の理由



# 展示



# 令和7年度 報告 (高校生対象 配布チラシ)

- **制作期間** 1か月
- **配布対象** 高校生や新成人等の若年層
- **協力・協賛** 愛媛県赤十字血液センター 様  
愛媛県薬務衛生課 様  
愛媛県立松山北高等学校(写真提供) 様

## 反省点

・ **資料集め・デザイン構成や展示会の準備の優先に時間を割いてしまったため制作期間が短く、慌てての制作になってしまった。**

→ 奉仕団内各大学で分担して、部門に分けての制作

・ **製作期間が短かったことから、奉仕団内での役割分担が担えず、個人負担が大きい制作になってしまった。**

→ 制作の分担 作成デザイン・資料の共有の実施

# 改善及び次年度の計画

## 改善(令和6・7年度)

- ・ 奉仕団内のデザイン案・資料の共有

(以前)奉仕団内で掲示内容を共有して決めた後は、個人で作成していた。

→ 個人ではなくグループ分けに変更。資料の収集・デザイン構成を提案・共有

- ・ 製作期間の日程調整

展示会の準備・献血キャンペーン等に集中していたため、制作日程が短くなってしまっていた。→ 人数の調整としてそれぞれの制作に人数を分ける。

## 令和8年度計画(予定)

- ・ 対象者へ直接配布できる機会を設ける。
- ・ 令和8年度の活動を掲示予定
- ・ 製作許可・完成目標の期間が決定次第、制作開始予定



# 令和8年度学生献血推進協議会事業計画

## ・学内献血にてアンケート調査の復活

実施者の人数調整・教育の強化

→ 学内献血の呼びかけ数が、学業との両立により、参加可能人数自体が少なく、教育の強化を図ることができなかった。

**改善** → 部員数の強化・事前参加者数の把握・他大学への呼びかけ依頼の実施

## ・SNSを使った広告

→ SNSの広告機能が各県に比べて、劣っている

**改善** → SNSでの投稿技術を教育し、投稿者を育成するSNSを得意とする人材の確保

# S N S 広告例(令和6年度制作)



← 2024クリスマスキャンペーン  
Instagram掲示



→ 2024サマーキャンペーン  
Instagram掲示